

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

沖永良部島方言語彙のアクセント資料(6)

| | |
|-----|---|
| 著者 | 上野 善道 |
| 出版者 | 法政大学沖縄文化研究所 |
| 雑誌名 | 琉球の方言 |
| 巻 | 31 |
| ページ | 1-38 |
| 発行年 | 2007-03-31 |
| URL | http://hdl.handle.net/10114/11869 |

沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (6)

上 野 善 道

UWANO, Zendo

これまで私は、鹿児島県沖永良部島和泊（わどまり）町の和泊方言を対象とした

(1) 甲 東哲（きのえ とうてつ）編『島のことば 沖永良部島』、三笠出版、1987 に

基づきながら、その各項目を和泊町皆川（みながわ）方言の話者である

(2) 皆村 英治（みなむら えいじ）、昭（あき）御夫妻

に聞いた資料を発表してきた。(3) の5つの報告書がそれである。

(3) 拙稿 (2005) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (1)」『琉球の方言』（法政大学沖縄文化研究所）29:1-40

拙稿 (2005) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (2)」『アジア・アフリカ文化研究』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）33:155-204

拙稿 (2005) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (3)」『琉球の方言』30:1-49

拙稿 (2006) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (4)」Asian and African Languages and Linguistics (ILCAA), 1:129-158

拙稿 (2006) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (5)」『東京大学言語学論集』25:249-297

本稿は、上記5篇で一通り最後まで進んだことをうけて、その全体を音調型別に再編成したものである。今回は、その1音節語と2音節語を対象とする。

提示形式は、

(4) 音調型付き語形、音節単位の音調型、以下、方言集のカタカナ見出し、意味（注記）

である。音節単位の音調型が今回新たに加えたもので、この型に従って整理してある。音調型付き語形は、再調査によって修正をした箇所があるが、逐一断ることは省略する。

前稿と食い違っている場合は、本稿の形が新しく認定したものと考えてよい。原文のカタカナ見出しに併用がある場合、掲げた語形と直接関係のないものは適宜省いた。また、意味の説明も今回は大幅に簡略化し、単語集の形に近付けた。本稿の中心は語形とそのアクセントにあり、それらが見やすいようにするための処置である。必要に応じて前稿ないし元の方言集を参照願いたい。

記号などはこれまでと変更がないが、本稿の中心をなす音調型の表記のみを掲げる。

- | | | | |
|--------|-----------------|-----|-----------|
| (5) [○ | 音節間の上昇 | ○] | 音節間の下降 |
| [[○ | 音節内の上昇 | ○]] | 音節内の下降 |
| ○][○ | 音節間の下降後上昇（音調の谷） | = | 続く音節も同じ高さ |
| ○[| 助詞が続くとそこで上昇 | % | 中程度の上昇 |
| ○ | 重音節 | o | 軽音節 |

本稿で取り上げる音調型の一覧は下記の通りである。括弧内はあってもなくても同じ型と認められるもので、[○と[○=は、前者が助詞付き形の型を聞いていないもの、後者がそれを確認したもので、両者はほぼ間違いなく同じものである。[○]と[○]]は助詞付きでは同じ[○](nu)になるので対立しないであろうが、単独形の形が気になるのでひとまず分けておく。[[○と(%)[[○は、語頭が少し盛り上がる後者の型が普通で、前者はその簡略省略表記である。次に、[ja]ma[:](山)を[o][○ではなく[o][[oとしたのは、語末の長母音はアクセントに伴って現れるもので、助詞が付くと短くなる場所から軽音節と扱ったものである。ただし、[do]zjo[:](泥鰌)のように、母音の長さはほとんど同じであっても、助詞が付いても短くならない場合は重音節の[o][○と扱う。一部、助詞付き形が得られていないためにその判定に迷うケースもある。

- | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|-----------|
| (6) | 1 音節語 | 2 音節語 | | | |
| | [○(=) | o[o(=) | o[○(=) | [○o(=) | [○○ |
| | [○](!) | o[o] | o[○]] | ○[o] | [○○]] |
| | (%)[[○ | [o][[o | [o][[○ | [○]o | [○]○ |
| | | | | [○]]o | [○][[○ |
| | | | | [○][[o | [○]][[○]] |
| | | | | | [○]][○ |

〔付記〕 お世話になった皆村英治・昭御夫妻に御礼を申し上げる。この調査報告は、科学研究費基盤研究(B)「琉球諸方言要地アクセントの緊急調査研究」(課題番号18320064)によって行なったものである。

方言語彙アクセント資料

◎ 1 音節語

[ʼi: [○ イー 西。

[ʼjuN [○ イュン 言う。入る。要る。射る。

[ʼiN [○ イン 十二支の戌。【干支でのみ用いる。[ʼiN]nu[tu]sji[:)] []

[ʼui [○ ウイ 上。

[ʼe: [○ エー ああそうか。納得の意を表わす感動詞。

[ʼo: [○ オー 泡。

[gaN [○ カン・ガン 棺。

[kjuN [○ キュン 着る。ただし共通語の「着る」より範囲が広く、下半身につけるのにもいう。「はかまキュン」[ha]ka[ma_%kjuN [o]o[o_%○。

[kiN [○ キン【闘】鶏の蹴爪。

[Kwa: [○ クワー 子。

[sji: [○ シー 隅。端っこ。

[sji: [○ シー ～して。「勉強シーから遊ぶ」[sji:kara [○ oo。

[sji: [○ シー 瀬。珊瑚礁のこと。干潮時の釣り場、潮干狩り場となる。また o 岸もシーである。

[sja: [○ シャー 下。

[sjuN [○ シュン する。している。方言直訳で例えば「羨ましがる」を「羨ましくする」[ʼo:]rima[sja_%sjuN [○]oo[o_%○ と言うことがある。

[su: [○ スー 贈られた物、借りた物に対して他の物ですのお返し。スーハロユン [su:_[haro]ju[N [○ _[oo]] [○ (お返しをする)。

[ta: [○ ター 鳥名たか。

[Cji: [○ チー 血。

[CjiN [○ チー 釣針。(古)「ち」。

[Cju: [○ チュー 人。他人。

[CjiN [○ チン(魚)ちぬ。

[cu: [○ ツー 露。

[di: [○ ディー さあ。人に行動を促すことば。(古)「いで」。

[di: [○ ディー [札] 縁談がまとまったお礼として嫁方へ行ってする式。【～_%sjuN (～する)という】

[de: [○ デー(植)竹。

- [tui [○ トウイ 鳥。鶏。
- [to: [○ トー 平地、原っぱ。
- [na: [○ ナー 名。
- [na: [○ ナー もう。また。
- [na: [○ ナー あれ。あの。(人称数詞が続く)
- [na: [○ ナー 中。
- [ni: [○ ニー 胸。
- [ni: [○ ニー 場所。「品物を置くニがない ’u[cjunu_[ni:nu_na[N]。
- [ne: [○ ネー 似合い。
- [Pa: [○ パー 皆無。「金がみんなパラなった」[Pa:_[na]ta[N [o_[o][[○。
- [hji: [○ ヒー 水の流し口。cji[rukenabi o[oooo チルケ / ナビ〔鉋掛鍋〕鉋付きの鍋についている。
- [bi: [○ ビー 動詞についてそのことの担当者であることを表わす。「水汲みビー mi[zjikumibi:] (水汲みの係)。(古)「べ」(世襲的に一定の職業に従事した団体)
- [hja: [○ ヒャー 坂。
- [hja: [○ ヒャー 魚の片身。
- [hjiN [○ ヒン ふん。何? 問いかえしの言葉。【誰にでも使える】
- [Fu: [○ フー 来い。
- [Fu: [○ フー〔封〕穴をふさぐこと。「鍋のフーをさせる」。
- [ho: [○ ホー 川。流れ川。x 泉。【流れていることが必要。流れていないと「泉」 [’ izju]mi[:)] [oo][[o]
- [ho: [○ ホー 何ですか。「ヒン」の敬語。
- [ma: [○ マー o 脱腸。これを「マーが出た」[ma:_[’ izji]ju[N【これは現在形】という。
- [me: [○ メー 御飯。
- [me: [○ メー 一杯。「おなかのメー食べた」【[wata]ga[mi とも】。
- [ja: [○ ヤー 座ろう。
- [jaN [○ ヤン 座らない。
- [jui [○ ユイ 竹製のふるい。
- [ju: [○ ユー 夜。日が暮れるのを o「夜が暮れる」という言い方をする。
- [ju: [○ ユー 世。
- [ju: [○ ユー よく。「ユーできた」(よくできた)。o なおいっそう。「きのうよりユー 寒くなった」。
- [jua: [○ : ユワー 四日。明々後日。
- [juN [○ ユン 座る。

[juN [○ ユン 受身・可能・自発の助動詞。「親にアマラユン [ʼama]raju[N] (親に叱られる)。「私にも読まユン [juma]ju[N] (私にも読まれる)。「郷里のことがマールン [Ma:]ju[N]」(郷里のことが思われる)。

[ji: [○ ㇿ (助) 動詞について並列語をつくる。「雨は降るㇿ [Fu]ju[ji:, 風は吹くㇿ [Fu]cju[ji:]。【「するし」は [sju:ji: [○○】

[ji: [○ ㇿー 座れ。

[ji: [○ ㇿー 男の兄弟。

[ji: [○ ㇿー 夕食。(古)「ゆういひ」。

[ji: [○ ㇿー 座れ。他の語に冠して「座」の意を表わす。

[wui [○ ヲウイ 折。機会。【su[nu_][wuini その折に、ついでに。】

[wu: [○ ヲウー 他の語に冠して「雄」を意味する語。

[wu: [○ ヲウー 芭蕉の繊維。(古)「を」(麻)。

[ʼja:= [○ = イヤー 石を割る鉄のくさび。

[ʼju:= [○ = イユー 魚。(古)「いを」。【[ʼju:ja は魚屋。】

[ʼjo:= [○ = イョー 洞穴。「いほり」の転か。

[gi:= [○ = ギー 儀。義務。義理。すじあい。「私がしなければならないギーはない」。

[Koi= [○ = コイ 鯉。

[ko:= [○ = (OK) コー 効。効果。甲斐。「一生懸命やったがコー無かった」。

[go:= [○ = ゴー [合] 一合ます。これの無い家は湯飲み茶碗で代用した。

[zja:= [○ = ジャー 蛇。想像上のを言い、実在のはヒブ hji[bu] o[o]。

[zu:= [○ = ズー 尾。魚の尾びれ。

[Tai= [○ = タイ 二人。

[Fa:= [○ = フワー 葉。

[Ma:= [○ = マー ここ。

[maN= [○ = マン 運。「今日はマンが悪かった」。

[mja:= [○ = ミャー 庭。

[mu:= [○ = ムー [藻] ほんだわら。

[je:= [○ = ユエー 寄合い。集会。

[ʼwa [o, [ʼwa:] [○] ウワー 豚。

[gwa [o, [gwa:] [○] (OK) グッ 反吐。「グッ吐いた」[gwa·_[ha]cju[N [o_[o] [[○

[ke [o, [ke:] [○] (OK) ケー 粥。

[go(・) [o(・)], [go:] [○] (OK) ゴー 穴。「壕」の転か。【単独形は、「合」よりも母

音が短い。助詞が付くと長母音で現れる。】

[mi·, [mi]: [o, [○]] [mi:](ga) [○] ミー o 兄。実兄以外に、o 一般年長の男性への呼びかけとしても使う。

[me]· [o], [me:](nu) [○] メー 前。

<m>[hji:] [○] ヒー 畳のへり。

[hju:] [○] ヒュー 今日。

[ʼa]i [○]] アイ 何か気づいたときに発する軽い驚きの声。あ、おや、あれ。「アイ、向こうに誰かいるようだ」「アイ、そうだったのか」。

[ʼa]N [○]] アン ある。形容詞から転じた名詞にアンを付けて形容詞に相当する方言ができる。例えば「高い」→「高さ」→「高さアン」→「高サン」。

[ʼi]: [○]] イー そんなにまでしなくてもよいのにという恐縮の意を表わす感動詞。「イー、そんなにたくさんおみやげまで持って来て…」。

[ʼu]N [○]] ウン 居る。

[ʼo]: [○]] オー 敬語としての「はい」。

[sja]N [○]] シャン 知らない。相手の話に対して「そうかしら」と疑念を示す場合も用いる【このときの調子は [sja: !N [○ !N]]】。

[sju]: [○]] シュー 牛馬に対する合図で脚を上げの意。鼻綱の一端を踏みつけた際、それを手で引きながらこう言う。

[zju]: [○]], [zju:](nu) [○] ジュー 重箱。

[so]: [○]] ソー 動物を追う声。(古)「そ」(馬を追う声)。【家に入ろうとした鶏などを追い出すときに使う。馬には使わない。】

<m>[Ta]: [○]] ター (幼) 砂糖。

[da]: [○]] ダー 牛馬に対する合図で止まれの意。

[cje]: [○]] チュー 牛馬に対する合図。「右に曲がれ」「右に寄れ」背中を鼻綱で打ちながら言う。

[du]: [○]] ドゥー 自分。自分自身。【[du:]sji 自分で。[○]]】

[to]: [○]] トー いざ。さあ。「トー、もう行こうや」。(古)「疾う」(いちはやく)。

[to]: [○]] トー 鬼遊びやかくれんぼうの際の開始の合図。

[Ni]: [○]] ニー うん。同輩や目下に用いる返事。

[nu]: [○]] ヌー 何。「ヌー、もう一度言ってごらん」「これはヌーかな [nu:]kaja [○]oo」。

[ha]i [○]] ハイ 牛馬に対する合図で「気を付けよ」。重荷を負って坂を下るときなどに発する。【むしろ、歩けの意】

[Fu]i [○]], [Fui](nu) [○] フイ 声。

[ho]i [○]] (OK) フワイ 秤。【計るは [Fa:]ju[N [○]][[○]

[ho]i [○]] (OK) フワイ o 針。茅屋根を葺くとき、屋根下から屋根上に縄を通すために用いる長さ一間程の o 竹。

<m>[bo]: [○]] ボー [坊] かつて島の上流家庭の少年をさした敬称。

[Mja]: [○]], [Mja:](nu) [○] ミャー 猫。

[mu]i [○]] ムイ 守り・子守り。

[wa]i [○]] ワイ 勝負なし。あいこ。

[wu]i [○]], [wui](nu) [○] フウイ 桶。

'a[: [[○] アー 垢。

'a[i [[○], ['a]i[(nu) [○]]] [アイ (植) 藍。

'u[i [[○] ウイ 物々交換の際、劣っている方に添える物品や金銭。(古)「おひ」(いったん払ってまた不足を補い渡すこと)。

ga[N [[○] ガン そう。そのとおり。

ki[N [[○], [ki]N[(nu) [○]]] [キン [権] 気位。

ku[i [[○], [ku]i[(nu) [○]]] [クイ 年功を経た人の歌声や三味線の音のもつ微妙な味。

sju[: [[○], [sju]:[(nu) [○]]] [シュー 塩。潮。潮流。潮しぶき。

cja[: [[○] チャー 茶。間食。【これは有気音】

Cju[i [[○] チュイ 一人。

ti[: [[○] ティー 手。掌。

to[: [[○], [to]:[(nu) [○]]] [トー (魚) たこ。

ni[: [[○], ne[: [[○] ニー 十二支の子。

ni[: [[○] ニー 根。

Ne[: [[○] ネー 少し。少しぼっち。

ne[: [[○], [ne]:[(nu) [○]]] [ネー 地震。(古)「なゐ」。【ne[:_%jutaN]

no[: [[○], [no]:[(nu) [○]]] [ノー 大魚を釣る際の釣縄。す糸をより合わせ豚の血を塗って作る。

ba[: [[○] バー 嫌だという意味の返事。

hji[: [[○] ヒー 木。

bu[i [[○], [bu]i[(nu) [○]]] [ブイ [無塩] 塩蔵魚に対して鮮魚をいう。

ho[: [[○] ホー o 皮 【人参など野菜の】。o 皮膚。x 甲羅。

ma[: [[○] マー 間。暇、合間。? 仲間 【これは 'a[gu]】。【%ma]:[nu_[wa]ro[sa]N

間が悪い。】

%'jo[: %[[○, ['jo]:[(nu) [○]] [イョー 櫛。

%sji[: %[[○ シー 無理に勧めること。「そんなにシーしてはいけない」。(古)「しひ」。

%sji[: %[[○ シー 酢。

%sji[: %[[○ シー 藁の先についた小さな葉や葉柄。

%ta[: %[[○ ター 田。

%Cji[: %[[○ チー o乳。o乳房。oみかんの中の袋。

%Cju]・[N %[[○ チュン 来る。「あす君の家に来るよ」という言い方をする。

%na]・[N %[[○ ナン 無い。

%hja[: %[[○ ヒャー 織機にしかけた経糸に梭を通すとき、その経糸を上下に開くの
に用いる糸通し。

%bja[: %[[○ ビャー (植) にら。

%hju[: %[[○ ヒュー 長さの単位。ひろ。一ひろ 【[Cju]hji[ru、二ひろ Ta[hjiru]。

%hju][N %[[○ ヒュン 乾く。干る。

%hju][N %[[○ ヒュン (尻を) ひる。

%Fu[: %[[○ フー 卵や穀物の殻。卵を数える単位。

%Fu[: %[[○ フー 運。危うく難をのがれた際「フーがあった」という。「果報」の「報」
の転か。

%bu[: %[[○ ブー 人夫。賦役。

%Fa[: %[[○ フワー 歯。

%Fa[: %[[○ フワー 表座敷。外。沖。

%Fu][N %[[○ フン 来ぬ。来ない。

%he[: %[[○ ヘー 南。

%he[: %[[○ ヘー 酒糟。o豚の飼料となる。【人は食べない】

%Ma[: %[[○ マー 馬。三味線の駒。

%ma][i %[[○, [ma]i[(nu) [○]] [マイ 尻。

%mi[: %[[○ ミー 目。

%mi[: %[[○ ミー すきま。?「戸のミー」。中。「山のミー [jama]numi[: [oo]o[[
○に住んでいる」。繁み。「木のミー [hji:]nu[mi [○]o[o]」。

%mju][N %[[○ ミュン 似る。

%mju][N %[[○ ミュン 見る。

%mu][N %[[○ ムヌ・ムン もの・物・食物・餌。

%je[: %[[○ エー・ユエ お祝。

◎ 2 S

'i[he· o[o イへ 墓石。

ga[cu o[o ガチ ほど。だけ。～の値打ち。「十円ガチもない品だ」。**[zju:]eNga[cu**

【cf. 'i[cjieNgacu(1円ガチ) o[o ○ oo 】

ga[sa o[o ガッサ それだけ。

ga[he o[o ガへ それだけ(の大きさ)。

sji[ri o[o シリ せよ。

ta[ge o[o タゲー 互い。**【cf. [ta]ge[ni [o]o[o 互いに】**

cji[zji· o[o チジ 頂上。

<m>cji[zji· o[o チジ 穀物の粒。フミチジ **[Fumi]cji[zji[[oo]o[o[は米粒。**

cji[bu· o[o チブ x 壺。o 肥溜め。o 豚小屋に隣接して設ける。

Cji[mi· o[o チミ 爪。三味線をひくのに用いる義甲。牛の角等で作り右人さし指にはめる。

cji[ri· o[o チリ 連れ。同行の者。たぐい。同年の者。

tu[zji· o[o トウジ 妻。(古)「とじ」(一家の主婦)。

<o>du[sji· o[o ドウシ 友達。(古)「どち」(同士。仲間)。**【'a[gu] が普通】**

ni[se o[o ニセ 青年。**【[ni]:[se が普】**

ha[za· o[o ハザ 匂い。

ha[zji· o[o ハジ 風。

ha[ni· o[o ハニ o 羽。o 翼。o 魚のひれ。

hji[cji o[o ヒチ 櫃。長持ち。柩。

wa[te· o[o ワテ 君とぼくと二人。

'a[za= o[o= アザ あざ。ほくろ。両者ともアザという。

'a[ma= o[o= アマ あそこ。あっち。

'a[ri= o[o= アリ あれ。あの人。

'i[ka= o[o= イカ (魚) いか。刺身・味噌漬けにする。墨の汁をつくる。

'i[sji= o[o= イシ 石。

'i[zji= o[o= イジ 意地。意志。勇氣。気概。

'i[bi= o[o= イビ 普通は伊勢えびを指す。

'u[sji= o[o= ウシ 丑。

'u[sji= o[o= ウシ 牛。牛に乗るものではないとされる。

'u[ta= o[o= ウタ 歌。

'u[ni= o[o= ウニ うに。食用になるのはしらびげうに。

<m>'u[ba= o[o= ウバ 割り舟。大正の頃から、沖縄から移入するようになった釣り舟。
 'u[ra= o[o= ウラ おまえ。ただし、「ウラ」は「おまえ」よりは幅が広い。方言で「ウラ」
 と言える相手にでも共通語で「おまえ」とは言いにくい場合がある。【目下に】
 'u[ri= o[o= ウリ・ウン それ。【Cf. ['u]re:_ [o] ○ _ ほら、ここに。】
 ga[ni= o[o= ガニ 蟹。
 ka[ja= o[o= カヤ 蚊帳。昔、庶民は芭蕉着物を被って蚊帳の代わりとした。
 ki[sji= o[o= キシ きせる。
 ki[ne= o[o= (OK) キネー〔家内〕家族。
 ku[zji= o[o= クギ 釘。
 ku[cji= o[o= クチ 口。弁説。言葉。
 gu[cji= o[o= グチ 愚痴。
 ku[bi= o[o= クビ 首。着物の襟。
 ku[re= o[o= クレー 位。運命。
 sa[ki= o[o= サキ 酒。普通は焼酎のこと。
 sa[sa= o[o= ササ (植) 芝。
 sa[cji= o[o= サチ 先。
 sa[ni= o[o= サニ (植) げっとう。蒸し菓子を作る場合、これの葉で包む。
 sa[ni= o[o= サニ 方角を失った場合等の「方角」の意。普通はあまり使わない。「サニ
 /アティララン」sa[ni_ 'a[tiraraN o[o_o[oo ○ は方角の見当がつかないの意。
 sa[ba= o[o= サバ 草履。藁やサニ・アダナシ・キ等で作り数日保つ。
 sa[be= o[o= サベ 稲や甘蔗の病害。これがつくと葉に黄色い斑点ができて枯れる。
 sa[mi= o[o= サミ 癢疹。
 sa[ra= o[o= サラ 皿。おかず。
 sji[ku= o[o= シク 座机。
 zji[nu= o[o= ジヌー 膳。
 su[di= o[o= スディ 袖。たもとを含めていう場合もある。
 ta[e= o[o= タエ 便り。「子供達から何のタエもない」。
 ta[bi= o[o= タビ 旅。本土。
 ta[ru= o[o= タル 誰。どなた。
 cji[gu= o[o= チグ (植) しゅろ。
 cji[zji= o[o= チジ〔真頂〕頭の旋毛。oこれが二つある者は意地っ張りだという。
 cji[bi= o[o= チビ 尻の方。ものの突端。【特に芋について言う。人の尻は ma[i [[○】
 cji[ru·= o[o= チル・チン 弦・鉉の意を表わす。
 ti[ra= o[o= ティラ〔寺〕神社のこともこう言う。【いわゆる寺はない。】

ni[sji= o[o= ニシ 北。

ni[zji= o[o= ニジ 魚の小骨や植物のとげ。いばら。(古)「のぎ」。

ni[zji= o[o= ニジ〔握り〕 稲苗を数える単位。径十センチくらいに藁でくくる。

ni[cji= o[o= ニチ 寢息。いびき。

nu[nu•= o[o= ヌヌ 布。

ha[ka= o[o= ハカ 墓地は内陸部を除く大部分が海岸の砂地帯にある。

ha[ta= o[o= ハタ 片。

ha[ta= o[o= ハタ 織機。糸車。

ha[ta= o[o= ハタ (一) o 陰。「風のハタになっている」。(二) o 味方。「弱い者のハタをする」。(三) o ほとり。「川のハタに ha[tani o[oo 生えている木」。

ha[cji= o[o= ハチ 毎朝先祖棚に供えるお茶や水。o よそから何か食物をいただいたときは、まずその一部をハチとして先祖棚に供える。「初」の転。

ha[ni= o[o= ハニ〔金〕 鉄。

ha[bu= o[o= ハブ 毒蛇の名。ただし永良部にはいない。o 人の後頭部の突き出たところ。

ha[mi= o[o= ハミ 敷居。ハミ(神)に通ずるせいか大切にされる。

hji[zji= o[o= ヒジ ひげ。o 植物の細根。気根。

hji[cji= o[o= ヒチ 肩の筋肉。(古)「けんぺき」(首から肩にかけて筋がひきつり痛むこと)。けんぺき → ひき → ヒチと転じたのであろう。

hji[ru= o[o= ヒル (植) にんにく。

Fu[ka= o[o= フカ (魚) ふか。人と身の丈を競って、自分より小さいと襲うという。

Fu[sji= o[o= フシ〔腰〕 腰だけでなく背中も含む。

Fu[sji= o[o= フシ 星。

Fu[su= o[o= フス へそ。(古)「ほそ」。

Fu[cji•= o[o= フチ 地下への深い穴。

Fu[ba= o[o= フバ (植) びろう。

Fu[bi= o[o= フビ 家の壁。【藁や木で作ったものも】

Fu[mu•= o[o= フム こも。かつて戸の代わりに吊したむしろ。

Fu[ri= o[o= フリ これ。「それ」と厳密な区別はなく、ウリの方がよく用いられる。

bu[ri= o[o= ブリ 他の語に冠して「群れ」を意味する。

ma[cji= o[o= マチ ひたい【ツムジの意だと】。

mi[zji= o[o= ミジ 水。

mu[sji= o[o= ムシ 虫。

mu[ta= o[o= ムタ 粒子の細かく粘り気の多い、水分を含んだ土【粘土質】。

mu[ni= o[o= ムニ 粉。

ju[cji= o[o= ユチ〔雪〕 あられのこと。

ju[mi・= o[o= ユミ 嫁。

’a[gu] o[o] (OK) アグ 友達。仲間。「A君とB君は学校アグだ」。配偶者。「太郎もいい年だからアグをさがしてあげよう。セットをなしている道具類。「これとこれはアグだから一緒にしまっておこう」。

nu[bi] o[o] 〔伸び〕あくび。【nu[bi]_sjuN あくびをする。再調査では体を伸ばす意と。】

’a[sa] o[o] アサ セミ。

’a[sji] o[o] アシ 汗。

’a[sji] o[o] アシ 昼食。午後二時頃にするのが普通。

’a[zji] o[o] アジ 祖母。婆さん。卑語は「アセ」。

’a[zji] o[o] アジ 普通「按司」の字をあてる。昔、奄美・沖縄の各地に割居していたと伝えられる支配者。【普通の人には希】

’a[cja] o[o] アチャ 父。お父さん。

’a[tu] o[o] アトゥ 後。

’a[ra] o[o] アナ（魚）あら？【魚の種類ではなく】

’a[ma] o[o] アマ 母。お母さん。自分の妻をさしている場合もある。

’a[ja] o[o] アヤ 姉。姉さん。ネンネ [neNne= とも。

’a[ra] o[o] アラ 玄米に混った粳。

’a[ro] o[o] アロ 露天。家に戸締まりがなく留守番もないこと。性格が開けっぴろげなこと。【大事なものを机の上などにほったらかしにしておくこと。】

’i[cji] o[o] イチ 息。

’i[cju] o[o] イチュ・イトウ 糸。絹糸。【糸の意。絹糸は [kinu]’i[cju] [oo]o[o] 』

<m>’i[no] o[o] イノ 環礁と陸地の間の海。

’u[sji] o[o] ウシ 安心。’u[sji_!sja%N 「それを聞いてウシした」。

’u[sji] o[o] ウシ 臼。

’u[sju] o[o] ウシュ 後ろ。陰口。「人のウシュ言うな」。【[’usju]gu[tu とも】

’u[da] o[o] ウダ どこ。

’u[cji] o[o] ウチ（古）「おき」（赤くおこった炭火）に同じ。

’u[di] o[o] ウディ（植）かぶら。【腕と同音】

’u[ni] o[o] ウニ 海。

’u[bi] o[o] ウビ 帯。桶のたが。

’u[Fa] o[o] ウフワ 琉球服属時代の島主「世之主」を祭った琉球式の墓で岩壁をうがってできている。

ga[nja] o[o] ガニャ そんな。「ガニャヌ ga[nja]nu o[o]o 話はまだ聞いていない」。

ga[ba] o[o] ガバ たくさん。「お金がガバある」。

ga[bu] o[o] ガブ 塊。「土ガブを砕く」 [nicja]ga[bu]、「木のガブを掘り取る」【根の】
[hji:]ga[bu] [○]o[o]。

ga[ho] o[o] ガホ げんこつ。「いたずらばかりしているとガホいれるぞ ga[ho]_%' irijuN」。
【 ga[ho_wa]juN o[o_o] [○] で殴る意。】

ki[nju] o[o] キニュ 昨日。

gi[ma] o[o] ギマ (植) ぎいま。観賞用。濃い紫色に熟した実は子供達が食べる。

ku[ka] o[o] クカ 食用としての食物の球根。

ku[ku] o[o] クク 陰のう。男根。

gu[sji] o[o] グシ 串。竹串はデーグシ [de:gusji] [○ oo]。

gu[sji] o[o] グシ 御神酒。

ku[da] o[o] クダ (一) 管。(二) 芭蕉の繊維をしごき取るため、また、稲をしごいて
脱穀するための竹製のピンセットのようなもの。

ku[bu] o[o] クブ こんぶ。

gu[ma] o[o] グマ (植) ごま。

gu[ri] o[o] グリ お礼。お辞儀。

sa[sji] o[o] サシ 鍵。

sa[sji] o[o] サシ てんびん。にない棒。

sa[ta] o[o] サタ 砂糖。黒糖。

sa[ma] o[o] サマ しらふ。酔っていないこと。

sji[za] o[o] シザ 年長者。

sji[zji] o[o] シジ 筋。

sji[zji] o[o] シジ 錫。錫製の酒入れ。

zji[da] o[o] ジダ 地べた。

<m>sji(c) [cji] o[o], ○ [o] シチ・シッチ なまこ。

sji[bi] o[o] シビ 神事に用いる御幣。

sji[bi] o[o] シビ (貝)

su[da] o[o] スダ 無駄。何事かをして効果のないこと。

zu[mi] o[o] ズミ 燈心。皿に豚脂を入れ、木綿の布を丸めたのを浸し、先端を外に出
して火をつける。

su[ra] o[o] スラ 木や竹の末端。

zu[ri] o[o] ズリ 女郎。接客婦。

se[ki] o[o] セキ 咳。

ta[ga] o[o] タガ 格好。

ta[ti] o[o] タティ 同年齢。「A君とB君はタティだ」。

da[ja] o[o] ダヤ 力の脱けた状態。「終日働いたのですっかりダヤなった da[ja_na[ti
o[o_o[o]]」。

cji[ta] o[o] チタ・チッタ 腫物や傷などのかさぶた。巻貝の蓋。

cji[cju] o[o] チチュ 月。

Cju[Fu] o[o] チュ / フ 一個 (卵等の数)。【cf. Ta[Fu=(二個) o[o=]]

Cju[Fo] o[o] チュ / ホー 一方。【cf. Ta[Fo=(二方) o[o=]]

Cju[ja] o[o] チュ / ヤ 一つ家。「二家族がチュヤで暮らしている」。

Cju[sji] o[o] チュシ 末っ子。

ti[gu] o[o] ティグ 魚籠。

ti[da] o[o] ティダ 太陽。お日様。

ti[ru] o[o] ティル ひょうたん形の竹かごで、腰に結わえるようにできている。

na[hji] o[o] ナーヒ・ナヒ もっと。「ナヒ持ってこい」。

na[ka] o[o] ナカ [仲] 酒の酌。【na[ka_%sjun(～をする)】

na[Ta] o[o] ナタ あなた【敬語】。ただし、共通語より範囲が狭く同等もしくは下位者
には普通こうは呼びかけない。

na[Fa] o[o] ナフッ 那覇。沖縄。

na[bi] o[o] ナビ 鍋。

na[ma] o[o] ナマ 今。

na[ma] o[o] ナマ まだ。【na[ma_na[da とも】

na[re] o[o] ナレ [習い] 礼儀作法。風俗習慣。伝統。

ni[zju] o[o] ニジュ 溝。堀。

ni[zo] o[o] ニゾ 歌語で主として男から女の愛人をさしている。その反対はサトゥ。

ni[bu] o[o] ニブ ひしゃく。

ha[gi] o[o], ha[ga] o[o] ハギ・ハガ 陰。影。容姿。風彩。

ha[sji] o[o] ハシ 戸板。

ha[sji] o[o] ハシ 箸。

ha[sji] o[o] ハシ 頭上運搬をするとき、物の下、頭の上に載せるもの。藁を径一五セ
ンチ程度のドーナツ形に巻いて作る。桶座。

ha[zji] o[o] ハジ 足。

ha[zji] o[o] ハジ 意地。我意。

<o>ha[zji] o[o] ハジ 蚕を飼うための平かご。

ba[sja] o[o] バシャ 芭蕉。長い間最も貴重な繊維の原料であった。

ha[te] o[o] ハテ・フッテ 畑。ハテは単に耕地をさす。

ha[mi] o[o] ハミ 甕。酒入れ・しおから入れ・醤油入れ・漬物入れ・にんにく漬け入れ・飲料水入れ・酢造り用等がある。【すべて保存用】

ha[ja] o[o] ハヤ 柱。

ha[ra] o[o] ハラ 径二尺余の平たく浅いざる【むしろ箕】で、水も洩らない程緻密に編んである。o 粳その他の穀類に混ざった白穂や雑物を去る際に用いる。

hji[ni] o[o] ヒニ 船。

hji[bu] o[o] ヒブ 蛇。いじめると味噌がめに入るといふ。

bi[ra] o[o] ビラ からだの弱いこと。病弱者。【形容詞は [bi]ra[sa]N】

bi[ri] o[o] ビリ 最後尾。

bi[ru] o[o] ビル 海藻みる。酢味噌あえにして食べる。

Fu[ga] o[o] フガ 卵。

Fu[gi] o[o] フギ 陰毛。

bu[ra] o[o] ブラ ほら貝。

bu[ri] o[o] ブリ 無礼。失礼。敬語はグブリ [gu]bu[ri] [o]o[o]。

ma[sji] o[o] マシ 枱。

ma[sji] o[o] マシ 田の数を数える単位。【[Cju]ma[sji, Ta[masji, o[oo, mi[masji, o[oo, …が、各々1枚、2枚、3枚、…。】

ma[zji()] o[o()] マジ まず。もし。仮に。ために。

ma[sju] o[o] マシュ [真潮] 塩。

ma[cji] o[o] マチ 火。

mi[zjo] o[o] ミジョ 見た格好。体裁。「ミジョナン mi[zjo_%na][N o[o_%[[○]は「ミジョ無い」で格好悪いの意。【反対は、～ [’a]N [○]] (ある)】

mu[sju] o[o] ムシュ 蓆。

ja[zji] o[o] ヤジ 山羊。

ja[cju] o[o] ヤチュ やいと。灸。

ju[ju] o[o] ユユ 関節と関節との間の骨格の長さ。

wa[cja] o[o] ワチャ 私達。

wa[nu] o[o] ワヌ 私。ぼく。目上に対しても目下に対してもワヌである。(古)「わぬ」。(東国の方言でわれ)。【助詞付き形は wa[nu]ga よりも [wa]ga[: [o][[o]]

wa[ro] o[o] ワロ 悪い奴。人をののしっている語。(古)「わろ」。

ji[du] o[o] シドゥ 魚を釣る際の餌。

ji[ru] o[o] シル 紐。

wu[zja](ga) o[o] フウジ・フウジャ 叔父。

wu[Ti] o[o] ヲウティ 一昨日。

wu[ba] o[o], [ba]:[ba [○]] [o ヲウバ・バーバ 叔母。【[ba]:[ba は大人も使う普通の言葉。それに対して、[ba:]ba は幼児語で、おばあさん、祖母の意。】

[ʼa]te[:][[o][[o アタイ [辺り] 近辺。集落。

[ʼa]mi[· [o][[o アミ 雨。

[ʼi]ni[:][[o][[o イニ (植) 稲。

[ʼi]nu[:][[o][[o イヌ 犬。

[ʼi]mi[:][[o][[o イミ 夢。(古)「いめ」。

[ʼi]mi[:][[o][[o イミ 物のつかいで。「この石鹸はすぐ減ってイミない」 [ʼi]mi[:_na
[N [o][[○ _[[○ 【使いでがない】

[ʼu]sju[:][[o][[o ウシュ [潮] 潮水。

[ʼu]sju[:][[o][[o ウシュー 潮流。潮しぶき。

[ʼu]tu[:][[o][[o ウトゥ 年少。弟妹。性の区別なくウトゥという。

[ʼu]mu[:][[o][[o ウム 甘藷。さつまいも。(古)「うも」(イモの古名)。

[ʼu]ja[:][[o][[o ウヤ 親。

[ʼu]ri[:][[o][[o ウリ 慈雨。

[ka]ki[: [o][[o カキ 賭。ゆびきりげんまん。【[ka]ki[:_%sjuN 誓って～するの意。

なお、賭けそのものは [ka]ke[:][[o][[o か】

[ki]cji[:][[o][[o (m) キチ 屋根用木材の一種。

[ku]sa[:][[o][[o クサ 草。作物に対して雑草。

[ku]sji[:][[o][[o クシ すき櫛。

[gu]sjo[:][[o][[o (OK) グショー 後生。あの世。

[ku]zji[:][[o][[o クジ 籤。

[ku]su[:][[o][[o クス 糞。

[ku]tu[:][[o][[o クトゥ 事。事件。「何かクトゥがあつたらしい」。他の語に冠しては「ク
ツ」となる場合もある。

[za]ko[:][[o][[o (OK) ザク x 雑魚。o 煮干し。

[sa]ta[:][[o][[o サタ [沙汰] 【悪い】評判。音沙汰。～の故。～のせい。「それは齢
のサタだ」。

[sji]ku[:][[o][[o シク 節句。旧五月五日の男の節句には、女は必ず潮干狩りに行く
ものとされた。ただし、旧三月三日の女の節句の頃が潮干狩りは盛んである。

[sji]sji[:][[o][[o シシ 【食】肉。(古)「しし」。

[sji]cji[:][[o][[o シチ [節] 時節。季節。

[sji]ba[:][[o][[o シバ x 唇。o 舌までシバの範囲に含めて用いることもある。
 [sji]be[:][[o][[o シバイ 小便。(古)「いばり」。
 [sji]ma[:][[o][[o シマ 島。故郷。集落。
 [sji]me[:][[o][[o シメー〔仕舞〕後始末。
 [sji]wa[:][[o][[o (OK) シュワ〔世話〕心配。気がかり。【[sji]wa[:_%sju]N
 [o][[○_%○]] 心配する】
 <m>[su]ri[:][[o][[o スリ (魚) きびなご 【[kibi]na[go が普】。
 [ta]ki[:][[o][[o タキ 背たけ。【岳の意では使わないと】
 [ta]ko[:][[o][[o タク たこ。
 [ta]ni[:][[o][[o タニ 種。苗を含む場合もある。
 [ta]no[:][[o][[o (OK) タノー 帯状疱疹。
 [cji]zju[:][[o][[o チジュー 唾。
 [cji]Tu[:][[o][[o チトゥ ふくらはぎ。
 [cji]Tu[:][[o][[o チトゥー みやげ。宴席から家に持ち帰る御馳走。(古)「つと」。
 [cji]nu[:][[o][[o チヌ 角。
 [Cji]mu[:][[o][[o チム 肝。心。気立て。
 [Cju]tu[:][[o][[o チュ/トゥー 一年。【cf. Ta[tu·(二年) o[o]】
 [Cji]ra[:][[o][[o チラ〔面〕顔。(古)「つら」。【顔を表わす極く普通の単語】
 [ti]de[:][[o][[o ティデー 進物。贈り物。歳の祝などのある家に贈る米・菓子・酒・
 反物等。【その物を [tide]mu[N [oo][[○ と言う】
 [tu]sji[(:)][[o][[o トウシ 年。
 [tu]sji[:][[o][[o トウシ 砥石。
 [na]gi[(:)][[o][[o ナギー 縦。着物の長さ。
 <m>[nu]za[:][[o][[o ヌザー しなをつくるの「しな」にあたる語。【子供がする。】
 [ka]ki[(:)][[o][[o (OK) ハキ「間に合う」の「間」にあたる語。
 [ha]sa[:][[o][[o ハサ 傘。笠。普通両方とも「かぶる」という言い方をする。
 [ha]sji[(:)][[o][[o ハシ 味噌や醤油・焼酎の原料。
 [ha]sji[:][[o][[o ハシ 生糸の束。織物の経糸。(古)「かせ」(つむいだ糸をかけて
 巻く工字形の木具。またそれに巻いた紡糸)。
 [ha]mi[:][[o][[o ハミ 神
 [ha]mi[:][[o][[o ハミ 亀。
 [ha]ra[:][[o][[o ハラ・フワラ〔腹〕母系の親族。ただし現在はヒチ(父系の親族)
 と混同して必ずしも厳格に区別しない。
 [ha]ro[:][[o][[o ハル・フワル 畑。ハルには農耕の意味もある。【[ha]ro[:)(の

方がより広い】

[ha]re[:][o][o ハレ 借金。支払うべき当座。「あっちこっちのハレを済ませてほつとした」。

[hji]zje[:][o][o ヒジャイ 左。左利き。

[bu]ku[:][o][o ブク 泡。あぶく。

[Fu]sju[:][o][o フシュ (植) [こしょう] o とうがらし。

[Fu]zu[:][o][o フズ 去年。(古)「こぞ」。

[Fu]cji[:][o][o フチ 東風。(古)「こち」。

[Fu]mi[:][o][o フミ 米。

[ma]ta[:][o][o マタ o 股。o 谷。o 股。o 谷。

[ma]cji[:][o][o マチ [牧] 豚小屋。ウーヌヤ ['wa:]nu[ja [○]o o とも。

[ma]ni[:][o][o (OK) マーニー 敵。

[mi]sju[:][o][o ミシュ 味噌。

[mi]cja[:][o][o ミチャ 土。「むた」の転か。

[mi]mi[:][o][o ミミ 耳。他の語に冠するときは「ミン」。

[mu]zji[:][o][o ムジ 麦。【今は作らない。】

[mu]zji[:][o][o ムジ 田芋の葉柄。→ターニム。

[mu]ni[:][o][o ムニ 言葉。

[mu]nu[:][o][o ムヌ もの・物・食物・餌。

[mu]mu[:][o][o ムム 腿。

[ja]ma[:][o][o ヤマ 鳥獣を捕えるための仕掛け。

[ja]ma[:][o][o ヤマ 山。o 森・o 林・o やぶ等にもいう。

[wa]ta[:][o][o ワタ 腹。(古)「わた」(はらわた)。【腸も】【タはしばしば無気喉頭緊張化音に聞こえるが、対立は不明。ここは Ta ではなく ta にまとめた。】

[ji]ru[:][o][o キル 夜。日が暮れるのを o 「夜が暮れる」という言い方をする。

[wu]zji[:][o][o ヲウジ [荻] (植) 甘蔗。黒糖の原料となる。

'i[sjo:= o[○ = イショー 衣裳。着物。晴着。

gu[te:= o[○ = グテー 五体。身体。【gu[te:_[hano]ra[N]

sji[ki:= o[○ = シキー 敷居。親の顔と同じで踏んではいけないとされている。

sji[ke:= o[○ = シケー 所帯。家計。

ni[hja:= o[○ = ニヒャー 家の軒の下部を葺くのに用いる短い茅。

ma[hja:= o[○ = マヒャー (植) ちがや。【ma[hjagja:= とも。】

ju[dai= o[○ = ユダイ よだれ。

'a[ga]: o[○]] (OK) アガ あ痛。

'a[ca]N o[○]] アツァン 暑い。

'a[be]: o[○]], 'a[ba]: o[○]] アバー・アバー あ、しまったの意を表わす感動詞。

'i[zji]: o[○]] イジ 事実そうかと問いたす語。「イジ、最初に手出したのはお前か」。

ni[sa]N o[○]] ニサン 遅い。

<m>ni[cja]N o[○]] ニチャン 味がまずい。

nu[ga]: o[○]] ヌガー なぜ。

Fu[ka]i o[○]] フカイ 深い所。

Fu[sja]N o[○]] フシャン 欲しい。助動詞としては「ブシャン」となり願望を表わす。

見ブシャン [mi:]bu[sja]N [○]o[○]] は見たいの意。

bu[ta]: o[○]] ブタ 肥えたさま。豚はウワ ['wa:] [○] という。

Fu[te]: o[○]] フテー 大変な。「この間はフテーめ Fu[te:]_me o[○]_o にあった」。

Ma[sa]N o[○]] マサン おいしい。【Ma は高めに聞こえるが、喉頭化のためだろう。】

mi[cju]N o[○]] ミチュン 似ている。【「見ている」も同音】

ja[gu]i o[○]] ヤグイ 人の失敗を嘲笑してかける言葉。

ja[sa]N o[○]] ヤサン o 安い。o 易しい。o 気やすく気軽だ。

ju[kwa]N o[○]] ユクワン 良い。好きだ。

['a]sa[i [o] [[○ アサイ あさり貝。潮干狩り。(古)「あさり」(山野、水辺を食物を得ようと探しまわる)。

['a]cju[N [o] [[○ アチュン 歩く。(学校等に) 通う。「東京で学校アチュン」。(漁のためよく海に) 行く。「海アチュン」。

['a]na[N [o] [[○ アナン そうではない。敬語は ['aja]bu[raN [oo]o[○] (OK) アヤブラン。それはあり得ないことだという意味の感動詞ともなる。「アナン、そんなひどいことをしたのか」。

['u]cju[N [o] [[○ ウチュン 物を容器から他の容器に移す。

['u]cu[i [o] [[○ ウツイ [移り] 勘。理解力。

['u]do[: [o] [[○ ウドー どら。どれ。しまった。

['u]mi[N [o] [[○ ウミン 穀物・果実・腫物等が熟する。

['u]mi[N [o] [[○ ウミン 細かく裂いた繊維を長く繕り合わせる。(古)「うむ」。

[ka]mi[N [o] [[○ カミン [噛む] 食べるの意に使う。噛むは「ハミン」[ha]mi[N [o] [[○ という。

[ki]cja[N [o] [[○ キチャン 来た。

[ku]su[i [o]] [○ クスイ 〔薬〕 山羊をはじめとする動物の肉や生き血などのように、栄養になる食物。

[kɯ]cju[N [o]] [○ (OK) クチュン 朽ちる。

[sa]wa[i [o]] [○ サワイ 唐ちりめん。【上等着物。[sawa]icjiba[ra とも言う】

[sa]wa[i [o]] [○ サワイ 三割【利子について】。昔はサワイの利子が普通だった。

[sji]ko[i [o]] [○ シコイ 準備。よそおい。しごま。「花子のシコイは飯を皆焦げさせてしまつて」。

[zji]zjo[: [o]] [○ ジジョー どじょう。【再調査ではこの形は否定され、[do]zjo[: [だと。】

[sji]bu[i [o]] [○ シブイ (植) 冬瓜。保存がきくので年中の家庭での冠婚葬祭の御馳走の材料となる。特に【豚肉ではなく】鶏肉と共に煮たのが好まれる。

[sji]mi[N [o]] [○ シミン 済む。「休んでシミン」 [ju]:[ti_[sji]mi[N [○]][o_[o]] [○ (休んでよい)。「行かないでもシミン」'i[kadamu_[sji]mi[N o[ooo_[o]] [○ (行かないでもよい)。

[sji]zju[N [o]] [○ (OK) スジュン 棒や鞭などで叩く。叩いて脱穀する。

[sji]cju[N [o]] [○, <m>[su]cju[N [o]] [○ スチュン 引く。o横や後ろに身を退ける。

[da]bja[: [o]] [○ ダビヤー 足の裏。

[cji]cju[N [o]] [○ チチュン 着く。付く。なつく。

[cu]ku[i [o]] [○ ツクイ 作物。

[tu]zju[N [o]] [○ トウジュン 研ぐ。削る。直訳して「o鉛筆をとぐ」というのは誤り。

[tu]ju[N [o]] [○ トウユン 取る。

[na]sju[N [o]] [○ ナシュン なす。産む。(古)「なす」。

[na]ju[N [o]] [○ ナユン なる。o果実が実る。o性交する。

[na]ra[N [o]] [○ ナラン ならない。かなわない。

[nu]zju[N [o]] [○ ヌジュン 抜く。脱ぐ。

[ha]zju[N [o]] [○ ハジュン 搭ぐ。x舟を造る。

[ha]cju[N [o]] [○ ハチュン 縄と縄をより合わせて大綱をつくる。(古)「かく」(編みなす)

[ba]ba[: [o]] [○ ババー バー (嫌) の意を強めた語。【糞の意にあらず】

[ka]mi[N [o]] [○ (OK) ハミン 噛む。

[ha]ju[N [o]] [○ ハユン・フユン o走る。o流れる。o国頭字では歩く、行く、去る等の意にも使う。

[hji]ju[N [o]] [○ ヒユン 蹴る。

[Fu]zju[N [o]] [○ (OK) フイジュン 漕ぐ。

[Fu]zju[N [o]][[○ フジュン 漕ぐ。o 居眠りでからだをふらつかせる。

[Fu]cju[N [o]][[○ フチュン o【風が】吹く。o (ぐちを) こぼす。o【風が】吹く。o (ぐちを) こぼす。

[Fu]tu[: [o]][[○ フトゥ [不当] 無実なことに対するとがめ。【とんでもない】

[ma]cju[N [o]][[○ マチュン 待つ。

[ma]ju[N [o]][[○ マユン 脱糞する【大便のみ】。(古)「まる」。

[mu]cju[N [o]][[○ ムチュン 持つ。

[ja]mi[N [o]][[○ ヤミン 病む。痛む。

[ja]ju[N [o]][[○ ヤユン 裂く。(古)「やる」。

[ju]mi[N [o]][[○ ユミン o 読む。o 数える。o しゃべる。(古)「よむ」(数を数える。声を立てて唱える。詩歌を作る。詠ずる)。

[ji]ju[N [o]][[○ キユン 貰う。「得る」の転か。

[wu]zju[N [o]][[○ ヲウジュン 軽べつする。馬鹿にする。

[ʼa:gi [○ o アー/ギ (植) あかぎ。

[ʼa:sju [○ o アー/シュ [赤潮] 退潮によって浅くなり瀬の色が水面を透かして見える頃の潮。

[ʼippe [○ o イッペ [一杯] 精一杯。

[ʼuisja [○ o ウイシャ 上下。さかしま。

[ʼwa:ne [○ o ウワーナイ 嫉妬。やきもち。(古)「うはなりねたみ」(先妻が後妻をねたむこと)。

[ʼwa:ba [○ o ウワーバ 余分。余計。

[ʼwa:bi [○ o ウワービ 上辺。表面。

<o>[ʼwa:ho(:) [○ o ウワーホ 芭蕉の表皮に近いところの皮。

[kaihe [○ o (OK) カイヘー [仮位牌] 位牌は本家に置くが、嫁に行った者、分家した者等が希望した場合は本家の写しを与える。これをカイヘーという。

[kaNku [○ o (OK) カンコ ほたる。

[giNmi [○ o ギミ・ギンミ [吟味] 協議の意。

[ke:mi [○ o ケーミ [欠け目] まぶたに裂けめのある目。またその人。

[saNke [○ o サンケ 参詣。寺参り。

[saNke [○ o サンケ ささくれ。手の爪ぎわなどの皮膚が逆向きに剥げること。

[saNpo [○ o (OK) サンポー 鳥名。うずら。

[sji:wa [○ o シーワ ～しては。「女にシーワ大きい」。

[sja:gu [○ o シャーグ 足跡。【特に畑に付いた裸足の足跡】

[sju:da [○o シューダ 奇妙な。不思議な。

[sjo:zji [○o ショージ 障子。

[sjiNna [○o シンナ するな。

[se:bu [○o セーブ 歳暮。

[so:ra [○o (OK) ソーラー 足の土踏まず。

[Ta:cji [○o ターチ 二つ。

[taNki [○o タンキ 短気。

[taNko [○o タンコ 同等。同価値。

[tiNsji [○o (OK) チンシ 膝。

[CjiNcjo [○o チンチョ 井戸。

[ti:sji [○o ティーシ 母屋の南に面した所。客はここから迎えるのが丁重だとされた。

○結婚式の花嫁はここから入り、○死者の柩はここから出る。

[tiNto [○o ティン・ティント 天。天道。【空の意。】

<m>[te:bjo [○o テー/ビョー 大病。重病。

[tu:ru [○o トゥール 岩壁を穿った横穴で共同風葬墓となった所。【[tu:rubaka とも】

[to:tu [○o トートゥ [尊と] (一) 祈り。(二) 信仰の対象としての月。(三) 老婆に対する敬称。

[naNko [○o ナンコ 箸戦。酒宴の席上での遊び。長さ八センチ程度の箸等を三本ずつ持って二人向き合い、任意の本数を右掌に隠して出し、両者の計を言い当てることによって勝負する。【大人の男がする。】

[Nja:gu [○o ニャーグ 石灰質の石が風化して砕けてできた土。

[neNne [○o ネンネ 姉さん。

<m>[haNme [○o ハンメ [飯米] 食糧。

[hji:zju [○o ヒージュ 日中。

[hjissa [○o ヒッサ [今朝?] 先刻。とっくに。

[hja:zji [○o ヒャー/ジ 傾斜のある土地。

[hja:i [○o ヒャーイ 日照り。

[hja:gi [○o ヒャーギ (植) いぬまき。庭木・床柱となる。

[buigi [○o ブイギ 砂糖搾汁機の車軸を回転させるための横木。これを牛馬につないで回転させる。

[Fu:te [○o フーテ 風袋。外見。

[FaNta [○o フンタ 絶壁。はた (端) の転か。

[FuNde [○o フンデ [放題] わがまま。「子供にフンデさせるな」。

[ho:zji [○o ホージ こうじ。かび。

[ho:jo: [○o (OK) ホーヨー 同様。同格。「人ホーヨー [Cju:ho:jo [○○o] は「人並み」。

[ho:ra(・) [○o ホーラー [川原] 川【のほとり】。

[mi:cji [○o ミーチ 三つ。

[muina [○o ムイナ かわいそうな。気の毒な。むごたらしい。「無理な」の転か。

[me:sji [○o メーシー [迷信] 病気や怪我の際、甘えて実際以上に痛そうにすること。

[wuikwa= [○o= ヲウイ / クワ 甥っ子。甥。

[mikke= [○o= ミッケ 三回。

gac[cjo] ○[o] ガッチョ 衝突。【gac[cjo_%sjuN ～する。】

kuk[ka] ○[o] クッカ のびるの球根。

dac[cjo] ○[o] ダッチョ (植) らっきょう。

Cjuk[ke] ○[o] チュッ / ケ 一回。【cf. [Takke(二回) [○o]

has[sa] ○[o], ga[sa] o[o] (後者が普) ハッサ これだけ (の量)。

mat[te] ○[o] マッテ 台所上部に土で固めて突き出した棚。o薪を載せて乾かす。【また、小さい甕などを置く。蟻が付かないようにする。】現在は無い。

muk[ka] ○[o] ムッカ・x プッカ 皆無【何もないこと】。

muk[ka] ○[o] (m) ムッカ 鳥類の肛門。

jak[ko] ○[o] ヤッコ 国頭・畦布字等に伝わる勇壮な踊り。歌詞の一部をとって「アブシグイ 'a[busjigui o[oo○] とも。

[ʼu:]cja [○]o (OK) ウーチャ おまえたち。

[ʼoi:]cju [○]o (OK) オイチュ 富者。

[ʼu:]do [○]o (OK) オード 大きな。「オード人」[ʼu:]do_%cju:= [○]o_%○=。

[ga:]ga [○]o ガーガ 通せんぼう。妨害。「ガーガする」。

[kaN]zju [○]o (OK) カンジュ 閑所。便所。国頭【クニガミ】字では「シチヌ」。

[sji:]me [○]o (OK) シーメ [後前] 前隣と後ろ隣【の家】。

<m>[cjiN]ku [○]o, [ʼiN]ku, [○]o, [PiN]ku [○]o チンク・インク・ピンク 背が低くからだ小さいこと。【[PiN]ku[cju:= [○]o[○= チビ】

[naN]du [○]o ナンドゥ [納戸・塩庫裡] 味噌・醤油その他をしまって置く所。

[nu:]jo [○]o ヌーカ 何か。

[ha:]se [○]o, [hai]da [○]o ハーセ・ハイダ 疲れたときに発する感動詞。

[haN]gu [○]o (OK) ハング 物の始末・保管。(古)「格護」(所持すること。保有す

ること)。

[PiN]ku, [○]o, [cjiN]ku [○]o ピンク・チンク 人・動物・物の小さいこと。

[biN]gwa [○]o ビングワ [芽小] 芽。

[hjiN]ma [○]o (OK) ヒンマ 昼間。

[ho:]gi [○]o ホーギ (植) はまごう。海浜に自生する低木。蚊やりにも用いる。

[ju:]mu [○]o ユーム よくも。「ユームそんなことが言えたものだ」。

[ji:]cja [○]o キーチャ (幼) お座り。【～ %sjiri: %o ○ ～しろ】

[ʼa]N[za [○]] [o アンザ [安座] 楽な座り方。あぐら。

[ʼa]N[be [○]] [o アンベ あんばい。様子。気分。具合。加減。o 「今日はからだのアンベが悪い」。

[Nja]:[Nja [○]] [o ニャーニャ (幼) 大便。

[ʼu]i[zja [○]] [o ウイジャ 泳ぎ。

[ʼu]i[cjo [○]] [o ウイチョ (植) ういきょう。香気があって食用になる。

[ʼu]i[bi [○]] [o, [ʼui]bi[(nu) [○]o [o ウイビ 指。(古) 「および」。

[ʼu]:[he [○]] [o ウーへ 横柄。

[ʼwa]N[Kwa [○]] [o ウワン/クワ [豚子] 子豚。【[ʼwa:]nu[Kwa: とも。】

[ʼe]:[za [○]] [o エーザ とんぼ。(古) 「あけづ」。

[ʼe]:[da [○]] [o エーダ 間。

[ʼo]:[ke [○]] [o オーケ 粟粥。

[ʼo]:[sa [○]] [o オーサ あおさ。あおのり。珊瑚礁に自生する。

[ʼo]:[zji [○]] [o, [ʼo:]zji[(nu) [○]o [o オージ [おうぎ] うちわ。

[ʼo]:[sja [○]] [o オーシャ 危さそうなさま。こわごわ。

[ʼo]:[da [○]] [o オーダ 草を刈り入れる 【むしろ、肥やしを入れ、牛の両側につける】 網袋。

[ʼo]:[bi [○]] [o, [ʼo:]bi[(nu) [○]o [o オービ あわび。

[ga]:[ku [○]] [o ガーク 蛙。

[ga]:[ta [○]] [o, [ga:]ta[nu [○]o [o ガッタ ばった。いなご。やせた人をガッタ のようだとなえる。

[ka]:[mu [○]] [o カーム 大正の頃まで用いられた女用の褌 【腰巻き】。越中褌をあべこべにしたような物で、垂らす部分は前から後ろにくぐらせて紐にはさむ。

[ka]N[ge [○]] [o カンゲ 考え。知恵才覚。

[ga]N[sji [○]] [o ガンシ そうして。

[gi]:[cja(_%sjuN) [○]] [o ギーチャ しゃっくり。

- [gja]:[za [○]][o ギャーザ (植) ちがや。冬期の牛の飼料となる。
- [cja]:[ra [○]][o キャーラー 欠けらの転か。(一) 松【の根】を薪にする際に出る木屑で燃料となる。(二) 食用とするためそてつの幹を適当な大きさに切ったもの。
- [ki]N[zji [○]][o キンジ 建築の際、その労をねぎらい、炊事の手間を少しでも省かせるため、親戚知人が建築主に贈る酒肴や食事。
- [ku]:[ru [○]][o クール 独楽。
- [Kwa]N[gi [○]][o (OK) クワーギ (植) 桑の木。
- [Kwa]:[sji [○]][o, [Kwa:]sji[[○]o[クワーシ 菓子。島の子供達にとっては、みかん・ばんじろう・桑の実・野いちご等、それに甘蔗や黒糖等が菓子代わりであった。
- [ku]N[zji [○]][o, [kuN]zji[(nu) [○]o[クンジ 黒に近い濃紺の藍染め。色が濃い程上質とする感覚がある。
- [gu]N[bo [○]][o, [guN]bo[(nu) [○]o[グンボ (植) ごぼう。食用・薬用になる。
- [he]:[sji [○]][o (OK) ケーシー [かえし] 懸け歌の応答の歌。
- [ke]:[zja [○]][o ケージャ【囲炉裏の】掛け金。針金を曲げたり、曲り木を利用して物を掛けるもの。
- [ko]:[cjo [○]][o コーチョ 胡弓。漂着したやしの実で作った。
- [go]:[hji [○]][o ゴーヒ 強欲。強欲者。
- [ko]:[re [○]][o (OK) コーレー 胸やけ。
- [go]N[go [○]][o (OK) ゴンゴン さっさと。手早く。
- [sji]:[sji [○]][o シーシ (幼) 小便。
- [sja]:[ga [○]][o シャーガ 生糸。
- [sja]:[gi [○]][o シャーギ 白毛。白髪。
- [zja]:[zja [○]][o ジャージャ 爺さん。罵語はジャーシ [zja]:[sji [○]][o。
- [sja]:[ni [○]][o, [sja:]ni[nu [○]o[シャーニ しらみ。
- [sja]:[bja [○]][o シャービヤ 藁製の牛馬の鞍座。
- [sju]:[bu [○]][o シュー/ブ 白穂。実のない籾。
- [sju]:[ki [○]][o シューキ [塩気] 御馳走。酒の肴。
- [sju]:[sju [○]][o シューシュ 並大抵。「シューシュのことでは驚かない」。
- [zju]:[zju [○]][o ジュージュ (幼) 野菜類。
- [sju]:[ta [○]][o シュータ シューの複数形。官公職についている人。「役場のシュータ」。
- [sju]:[te [○]][o シューテ (一) 所帯。(二) 一家の経済。(三) 塩・みそ・しょうゆ等常に家庭できらはならぬもの。
- [zju]:[te [○]][o ジューテ 歌、三味線のうまい人。舞台での踊りの際は幕内で奏する。

男性がこれにあたる。(古)「ぢうたひ」(謡曲の地の部をうたう人)。

[sju]:[na [○]][o シューナー (植) ふだんそう。

[sju]:[wa [○]][o, [sju:]wa(nu) [○]o[シュー / ウツ 白豚。夜、白豚の妖怪
が出るといわれる木の生い繁った場所が方々にあった。

[sjo]:[zji [○]][o ショージ 湯灌のこと。畳を取り去って死者を竹床の上に座らせる。
頭から温湯を注いで全身を洗う。

[sjo]:[zji [○]][o ショージ 霊が乗り移って神がかりになった婦人は、一生の間ショ
ージゴ [sjo:]zji[go [○]o[o (特定の泉か井戸)で毎月朔日、ショージ【清め】を
しなければならない。ショージの語原は「精進」か「みそぎ」の「そぎ」の転かと思
われる。

[sjo]:[ju [○]][o ショーユ 醤油。

[sjo]:[ro [○]][o ショーロ 精霊。お盆。旧七月十三日に墓参し清掃をする。帰りに
祖霊を家に招待する。

[sji]N[su [○]][o シンス 先祖。

[so]:[ki [○]][o ソーキ 肋骨。

[ta]N[nja [○]][o タンニャ たにし。

[Cji]:[cji [○]][o チー / チ 一日一日。日に日に。

[Cji]:[ja [○]][o チーヤ ひとえの着物。(古)「ちはや」〔巫女が神事の際用いる白
布単衣)。

[Cja]:[ku [○]][o チャーク 強く。「チャーク打つ」。女性が「ひどいわ」に相当する
語としても使う。(古)「いたし」(はなはだしい。ひどい。)

[cja]:[to [○]][o チャート [茶湯] 年忌祭。毎朝霊前に供える茶のお初。

[Cja]:[ma [○]][o チャーマ 少し。「私にもチャーマ分けてよ」。

[Cju]i[cju [○]][o チュイ / チュー・チュイムン 一人者。

[Cju]:[ka [○]][o チューカ きゅうす。

[Ti]:[cji [○]][o ティーチ 一つ。

[di]N[ki [○]][o ディンキ 愠気。嫉妬心。

[ti]N[ge [○]][o ティング 相当。かなり。

[du]:[sji [○]][o ドゥーシ 雑炊。その固めなのを喜美留字でミシジという。

[tu]:[ju [○]][o トゥーユ (植) はるののげし。うさぎの好物である。

[to]:[ni [○]][o トー / ニ [唐舟] 豚の餌を入れるための松もしくは石を掘って作っ
た舟形の容器。

[to]:[Fu [○]][o トーフ 豆腐。固く作って水の中に入れないのが普通。

[do]:[mo [○]][o ドーモ 老耄。もうろく。

[do]N[do [○]][o (OK) ドンドン (一) ときどき。「胸がドンドンする [do]N[do_%sji:]」。
 (二) ずんずん。「一人だけドンドン先に行った」。(三) さっさ。「仕事をドンドンしなさいッ。」

[na]:[da [○]][o ナーダー 涙。

[na]:[cja [○]][o ナーチャ 明日。

[na]:[du [○]][o ナードゥ 彼自身。彼女自身。【第三者のことを言う。】

[na]:[ra [○]][o ナーラ 半分。中途。(古)「なから」。

[na]N[ma [○]][o ナンマ ナマを強めた言い方。ついさっき。「彼はナンマまでここにいたのに」。

[ni]:[se [○]][o ニーセ 青年。

[Nja]:[Nja [○]][o ニヤー/ニャ (幼) 汚いもの【全般】。糞便。

[njo]:[sa [○]][o ニョーサ みの。しゅろを材料にして作った雨具。

[nu]:[ja [○]][o ヌーヤ 何時【ナンジ】頃。

[ne]:[gu [○]][o, [ne]:[zja [○]][o ネーグ・ネージャ ちんば。

[Ne]N[cja [○]][o ネンチャ 少し。少しぼっち。

[Ne]N[cja [○]][o ネンチャ そんなに小さく。【上と同じ単語?】

[no]:[sju [○]][o ノーシュ 苗代。

[ba]:[ba [○]][o バーバ 叔母。【[ba]:[ba は大人も使う普通の言葉。それに対して、
 [ba:]ba は幼児語で、おばあさん、祖母の意。】

[ga]N[sji [○]][o ハンシ こんなに。「ハンシ立派なものは見たことがない」。

[ba]N[zji [○]][o バンジ 真っ盛り。「今酒宴はバンジだ」。

[hji]:[zju [○]][o ヒージュ [日中] 始終。常に。いつも。

[bi]:[bi [○]][o ビービ 女陰。

[hji]:[ja [○]][o ヒーヤ おお寒。

[hja]:[gi [○]][o ヒヤーギ ざるの大型のもので、甘藷等を入れて頭に載せて運ぶのに用いる。

[hju]:[hju [○]][o (OK) ヒューヒュー ベル。草笛。【幼児語】

[hji]N[su [○]][o ヒンス 貧乏。

[hji]N[bi [○]][o ヒンビ 日々。毎日。

[Fu]:[sju [○]][o フー/シュ [大潮] 大海の水。

[Fu]:[cju [○]][o フー/チュ [大人] おとな。

[Fu]:[mi [○]][o フー/ミ [大兄] 長兄。長姉はフーアヤ [Fu:]'a[ja [○]]o[o。

[bu]:[bu [○]][o ブーブ (幼) 飲み水。

[Fu]:[mi [○]][o フーミ (魚) はたんぼ。

[Fa]:[cja [○]][o フーチャ 伯父。

[Fa]:[nu [○]][o フーヌー〔花?〕死者のあった家に親戚から贈る朶もしくは粟や
麦のこと【香典】。

[Fa]:[Fa [○]][o フーフウ ほやほや。ものの暖いさま。

[Fa]:[ma [○]][o フーマ 伯母。マーマ [ma]:[ma [○]][o とも。

[Fa]:[ja [○]][o フーヤ 長姉。

[he]:[sa [○]][o ヘーサ 早く。とつくに。

[bo]:[zu [○]][o (OK) ボージ〔坊主〕寺がないので o 神主もかく称する。

[ho]:[cji [○]][o ホーチ 簪。

[ho]:[ri [○]][o ホーリ ずっと。はるか。「ホーリ昔の話」。

[ho]:[rja [○]][o ホーリャ あな嬉し。嬉しさのあまりに発する言葉。

[ho]N[ka [○]][o ホンカ ふり。「知っているホンカする」'a[tjanu_[ho]N[ka o[oo_
[○]][o。

[Ma]:[ga [○]][o マーガ 水田を耕すための農具。

[Ma]:[ga [○]][o マーガ 孫。

[ma]:[ni [○]][o マーニ 日常。不断【普段】。

[ma]:[nu [○]][o, [ma:]nu[(nu) [○]]o[(OK) マーヌー 蚕のまゆ。

[ma]:[ma [○]][o マーマ まま。そのまま。まるごと。

[Ma]N[ka [○]][o マンカ〔馬子〕子馬。

[ma]N[ku [○]][o マンク (植) くすのはかえで。

[Ma]N[ke [○]][o マンケ 同じ長さ。

[Ma]N[sa [○]][o, [Ma]N[te [○]][o マンサ・マンテ 同じ価格。

[ma]N[zji [○]][o マンジ 山形に積んだ稲束。藁小積。

[ma]N[cja [○]][o マンチャ ウチャギ ['u]cja[gi [o]o[o と大体同じであるが、さ
らう石が限定される。例えば五つマンチャとした場合は、五個以外の石をさらったら
失格となる。夏の木陰などでよく行われる。

[ma]N[di [○]][o マンディ・x マンディラ・[maN]dinamu[N マンディナムン たく
さん。

[Ma]N[to [○]][o マント 同じ高さ。同じ距離。

[Ma]N[pe [○]][o マンペ 同じ高さ。同じ大きさ。

[mi]:[gwa [○]][o ミー/グワ 複数の兄のうちの年少者。

[mi]:[go [○]][o ミー/ゴ 病気等のため落ち窪んだ目。

[mi]:[mu [○]][o ミーヌ 木綿【あわせのことか?】。

[mi]:[Fa [○]][o ミー/フワ 夜遅くなってもいっこうに眠くならない状態。

[mi]:[mi [○]][o ミーミ 隅々。

[Mja]N[ka [○]][o ミャンカ〔猫子〕子猫。

[mi]N[to [○]][o ミントー 耳の遠い者。

[mu]i[sju [○]][o ムイシュ〔盛り塩〕正月や歳の祝の席に大皿に盛って供える塩。
来客にはこれを干物に付けてあげる。

[mu]:[ru [○]][o ムール みんな【みなさん】。(古)「もろ」(多くの。もろもろの)の転か。

[mu]N[cja [○]][o ムンチャ〔者達〕諸君。複数の同輩もしくはそれ以下に呼びかけることば。

[me]:[sji [○]][o メーシ 朝食。出花や畦布字では昼食の意。

[me]:[me [○]][o メーメ めいめい。別々。

[ja]:[ta [○]][o ヤータ それからしばらくの間。「来たヤータ [ki]cja[nu_[ja]:[ta
[o]o[o_[○]][o はおとなしそうだったのに」。

[ja]:[ni [○]][o ヤーニ 来年。

[ja]:[se [○]][o ヤセ 野菜【総称】。大根。大根はデークニ [de:]ku[ni [○]o[o とも。

[ja]N[na [○]][o ヤン/ナ 家の中。【%ja]:[nu_[na:]nu (家の中が) とも。】

[ju]:[zju [○]][o ユージュ〔用事〕大小便を上品にいう言葉。【～ %sjuN %○ ～する】

[ju]:[zje [○]][o ユーゼ 喧嘩。

[ju]:[cji [○]][o ユチ 斧。よき。

[jo]:[ka [○]][o ヨーカ・ヨカ (助) ～より。「AヨーカBがよい」。

[jo]:[te [○]][o, [jo:]te[: [○]][[○ ヨーテー 様態・様子・格好。嘲意のある言葉
である。「あんなヨーテで何ができるものか」。

[ju]:[ne [○]][o (OK) ヨーネ 宵。夕方。

[wa]:[du [○]][o ワー/ドゥ 私自身。

[wa]:[me [○]][o ワー/メ 私のため。私の分。

[wu]:[sa [○]][o ヲウサー おさ(箆)の外側にはめる木具。

[wu]N[zji [○]][o ヲウンジ 恩儀。

%Kwa]c[cji %○]][o クワッチ 御馳走。沖縄語を、そのまま借用した言い方である。

%Cja]c[cja %○]][o チャッチャ (幼) おんぶ。

%do]N[zji %○]][o ドンジャ〔鈍者〕気が利かず動作の鈍い者。

[ˈa:]du[:[○]][[○]o アードゥー かかと。(古)「あくと」。

[ˈi:]cji[:[○]][[○]o イーチャー 魚のうろこ。頭のふけ。(古)「いろこ」(うろこ・ふけ)。

[ˈi:]cja[:[○]][[○]o イーチャー 板。織機に渡して腰かける板。

[ʼik]ka[:][[○]][o イッカー 幾日。何日。【「今日は～」】

[ʼo:]sji[:][[○]][o オーシー 小魚や魚の臓物に塩を加えて甕に入れて密封し、熟れるのを待って副食物とするもの。

[ka:]zji[:][[○]][o カージ 上あご。

[KuN]nja[:][[○]][o (OK) コンニャー 鳥名くいな。

[sa:]mi[:][[○]][o サーミ めじろ。「側目」の転か。

[sa:]mi[:][[○]][o サーミ じゃんけん。

[saN]go[:][[○]][o サンゲー [参献] 歳の祝で、祝われる人と祝う人との間で行う盃の献酬。【下記と同一?】

[saN]go[:][[○]][o サンゲー 七十三歳以上の歳祝い。家族・兄弟程度による内祝。

[sjiN]ke[:][[○]][o シンケー [神経] 気違い。

[se:]ku[:][[○]][o セーク [細工] 大工。

[da:]gu[:][[○]][o ダーグー o 団子。o からだにできるこぶ。

[Cjui]gwa[:][[○]][o チュイ / グワー 一人っ子。

[de:]zji[:][[○]][o デージ (一) [大事] (一) o 大切。「デージにしておいておく」。

(二) o 大変。「デージなことになった」。(三) o 感心。「デージな子だね」。

[ti:]cji[:][[○]][o テーチ 諺。昔からある教訓。「庭訓」の転か。

[do:]ki[:][[○]][o ドーキ 機転。

[to:]de[:][[○]][o トー / デー (植) だいみんちく。割に大きいのでにない棒・葬儀用の花筒等となる。竹の子は食用になる。

[to:]ra[:][[○]][o トーラー 俵。かつては一俵が四斗八升だった。

[du:]na[:][[○]][o ドゥーナ 自分達。身内。血縁。「AさんとBさんはドゥーナになる」。

[na:]gu[:][[○]][o ナーグー 植物の芯。【もしや下記と同一?】

[na:]gu[:][[○]][o ナーグ 芭蕉の表皮に近いところの皮の下。

[na:]da[:][[○]][o ナーダー 涙。

[naN]ka[:][[○]][o ナンカー [七日] 初七日の供養。

[nu:]sji[:][[○]][o ヌーシー 貝【全般】。

[no:]zji[:][[○]][o ノージー のこぎり。

[hjo:]sji[:][[○]][o ヒョーシ 拍子。折り。「よいヒョーシに ju[kwa_][hjo:]sji[ni o[o_][○]o[o 雨が降った」。

[Fa:]tu[:][[○]][o フワートゥ 鳩。【鳩に限らず、(名前を知らない) 鳥全体を言う】

[Fa:]ma[:][[○]][o フーマー 甘藷のはかま。燃料になる。

[bu]N[nu [○]][o, [buN]nu[(nu) [○] o] (OK) ブンノー [煩惱] 愛着。「あいつ

のやりくちを見ているとブンノー切れる」。

[he:]sji[:][[○]][o ヘーシー 歌の囃。

[he:]sji[:][[○]][o ヘーシー 〔返し〕 台風一過の後、再び逆の方向から吹く風。(古)
「かへし」

[heN]nja[:][[○]][o ヘンニャー 二の腕。(古)「かひな」。

[ma:]mi[:][[○]][o マーミー o 豆。o 家畜の腎臓。

[mi:]me[:][[○]][o ミーメー 見舞い、冠婚葬祭・退院・就退職・火災・新築等々の
あった家に随時訪れてあいさつを述べる。o 主に婦人がする。

[mja:]sji[:][[○]][o ミャーシー もやし。ミショーの甘味料となる麦芽。

[miN]zjo[:][[○]][o ミンジョー 人形。x 蚕のさなぎ。

[muN]nja[:][[○]][o ムンニャ 生のままの野菜を酢味噌であえたもの。

[ja:]na[:][[○]][o ヤー/ナー 〔家名・童名〕 戸籍上の名でない通称。これに対し
て戸籍上の名を学校名と言ったりする。【屋号も言う。】

[jui]cju[:][[○]][o ユイ/チュー 〔酔い人〕 酔っぱらい。

[ju:]na[:][[○]][o ユーナー 夜中。

[jo:]sji[:][[○]][o ヨーシー 様子。～そうな。「昔、じいさんとばあさんがいたヨー
シー wu[tanu_][jo:]sji[: o[oo_[○]][○]」。

[jo:]te[:][[○]][o ヨーテー 様態・様子・格好。嘲意のある言葉である。「あんなヨ
ーテで何ができるものか」。

[wa:]ku[:][[○]][o ワークー 糸わく。

[wa:]ku[:][[○]][o ワークー 作物の間の除草。

[jiN]ga[:][[○]][o キンガー 男。

[ʼa:gwa: [○○ アー/グワ 赤子のこと。妖魔から守るため、一定期間寝ている枕頭
には曲尺・刃物等を置く。

[ʼa:mui [○○ (OK) アー/モイ 赤みがかった海藻で湯通しして酢味噌で食べる。和
名不詳。

[ʼa:gai [○○ アーガイ あかり。燈火。明るい場所。

[ʼa:sjuN [○○ アーシュン 謎を解く。

[ʼa:miN [○○ アーミン 赤らむ。麦や稲の穂が熟して黄ばむ。

[ʼi:Fai [○○ イー/フワイ 〔言い張り〕 口論。

[ʼi:juN [○○ イーユン 入れる。他の語に付けて「取り入れる」等の用法はない。

<m>[ʼikkiN [○○ イッキン 一件。「あのイッキンは今どうなっているか」。

[ʼjo:juN [○○ イョーユン 借りる。返すべきものが、借りたそのものでない場合、例

えば味噌・米麦などを借りるのはイヨーユンである。

[’uigwa: [〇〇 ウイ / グワー 初めての子。

[’uijuN [〇〇 ウイユン 植える。

[’u:juN [〇〇 ウーユン 追う。人を【見】送る。借りた器具類を返す。

[’e:kui [〇〇 エークイ 開け閉め。

[’e:juN [〇〇 エーユン 開ける。明ける。開墾する。

[’e:juN [〇〇 エーユン もの【実など】が熟して落ちる。今まで出なかった乳が出る。
膿が出る。

[’oisjuN [〇〇 オイシュン (着物を)お召しになる。(食物を)召しあがる。(物を)
差しあげる。

[’o:sjuN [〇〇 オーシュン 根菜・魚・肉類に塩をもみ込む。

[kaNkaN [〇〇 カンカン (幼) 空缶。

[ki:miN [〇〇 キーミン 黄ばむ。

[kja:sjuN [〇〇 キャーシュン 消す。

[Ku:juN [〇〇 クーユン 閉める。閉じる。

[Kwa:zji: [〇〇 クワー / ジー 後産。胞衣。家の軒下の内側等雨に濡れない所に埋める。

[ke:juN [〇〇 ケーユン 欠ける。?(子供の遊びで)失敗する。

[Ko:taN [〇〇 コータン [食べた] いただきました。? 幼少者が使う語。

[Ko:juN [〇〇 コーユン 食べる。幼少者に対して使う。【和泊近辺の敬語。皆川では
言わない】。

[sji:juN [〇〇 シーユン 【おかずを】添える。御飯などをつぐ。よそおう。

[sja:juN [〇〇 シャーユン 申しあげる。

[sja:juN [〇〇 シャーユン 諸の煮汁を【捨て】去る。水を切る。

[sjo:sjuN [〇〇 ショーシュン あえる。茹でた野菜類にあぶり魚を細かくちぎったも
の等を加えて味をよくし、酢味噌をかけて食べる。

[zeNzeN [〇〇 ジンジン (幼) 銭。お金。

[zjiNdai [〇〇 ジンダイ だらだらしてしまりのない者。服装のだらしない者。

[sjiNcjuN [〇〇 シンチュン 沈む。沈んでいる。

[so:juN [〇〇 ソーユン 連れる。人を引きとる。【離婚の後に子供を引き取る】

[ta:juN [〇〇 ターユン 付着する。

[daibaN [〇〇 ダイバン [大判] 普通より大きな人・動物・物。

[cjippai [〇〇 チッパイ 支柱。

[Cju:ho: [〇〇 チューホー 機織りの技術。「調法」の転か。

[ni:juN [〇〇 ニーユン 煮える。

[ni:juN [〇〇 ニーユン 練る。こねる。【粉を】

[njo:sjuN [〇〇 ニョーシュン oすもうなどで互いに呼吸をはかる。相手の力などを読みとろうとして向きあう。ものごとをなそうと身構えする。【相手の出方をうかがう意も。】

[njo:juN [〇〇 ニョーユン 似合う。

[ne:juN [〇〇 ネーユン 差出す。【どうぞ】

[hja:goi [〇〇 ヒャーゴイ 平鍬。

[hja:juN [〇〇 ヒャーユン 雨が降らず日照りになる。

[hjaNcjuN [〇〇 ヒャンチュン 背を低くする。しゃがむ。

[hju:juN [〇〇 ヒューユン 拾う。

[FuijuN [〇〇 フイユン 越える。またぐ。

[Faigi: [〇〇, [cjiipai [〇〇 フワイギ・チッパイ [張木・つつぱり] 支柱。茅葺屋根は頭が重いため台風に弱い。そのため家を支える支柱は必需品として床下等に備えてあった。

[he:juN [〇〇 ヘユン 替える。oお金をくずす。変える。

[ho:juN [〇〇 ホーユン 買う。

[ho:juN [〇〇 ホーユン (水や砂などを) 振りまく。

[ma:sjuN [〇〇 マーシュン 負かす。

[mi:muN [〇〇 ミー/ムン 新しい物。

[miNzjuN [〇〇 ミンジュン 握る。【鬼ごっこで】 捕える。

[miNdai [〇〇 ミンダイ 水準標。溝田から次の田への水の出口を幅一五センチ程度に開ける。細い竹の枝等を水面すれすれに出口の横に差し込んで、水面がそれより下にならないようにする。また、持ち主が異なる田に共同で水の汲み上げをする場合、水の配分量が不公平にならぬよう泥土で作る分配溝。

[muNdo: [〇〇 ムンドー [問答] 口論。いさかい。

[me:sjuN [〇〇 メーシュン くべる。燃やす。たきつける。

[me:juN [〇〇 メーユン 負ける。

[mo:sjuN [〇〇 (OK) モイシュン 人が亡くなる。

[mo:juN [〇〇 モーユン 回る。回転する。旋回する。

[ju:juN [〇〇 ユーユン 結う【髪を】。

[juimuN [〇〇 ユイ/ムン [寄り木・寄り物] 海岸に漂着した木や物。これにはシバナの神が宿っているから拾ってはならないとされた。

[jo:juN [〇〇 ヨーユン 寄る。集まる。共同する。力を合わせる。「二人ヨーて [jo:ti [〇 o 石を持ち上げる」。

[wa:sjuN [〇〇 ワーシュン [沸かす] 煮る。o 蒔や大根等の場合に使う。

【Cf. wa[kasjuN o[o〇 水や湯を沸かす】

[wu:muN [〇〇 ヲウ／ムン [雄もの] おす。【めすは [mi:]mu[N [〇]][[〇]

[ʼa:sa]N [〇〇]] アーサン 赤い。

[ʼussa]N [〇〇]] (OK) ウッサン みにくい。

[ki:sa]N [〇〇]] キーサン 黄色い。

[sjissa]N [〇〇]] (OK) シッサン 摩擦が大きくて滑りが悪い。例えば戸など。

[sjiNsa]N [〇〇]] シンサン 悲しい。残念だ。

[Nja:sja]N [〇〇]] ニャーシャン 汚い。醜い。(字などが)まずい。【人には言わない。】

[nuNsa]N [〇〇]] ヌンサン 怖い。恐ろしい。

[hja:sa]N [〇〇]] ヒャーサン o 平たい。o 低い。「ヒャーサしなさい」 [hja:sa_[sji:
[〇 o_[〇 というと「あぐらをかいて楽にしなさい」の意。

[mi:sa]N [〇〇]] ミーサン 新しい。

[mja:sa]N [〇〇]] ミャーサン [身安い] o お産が軽い。o 病中・病後の気分がすぐれて
いる。気軽い。

[muccja]N [〇〇]] ムッチャン 粘っこい。

[ʼai]cja: [〇]〇 アイチャ あ、そうだったかの意の感動詞。

[toN]toN [〇]〇, [doN]doN [〇]〇 トントン・ドンドン 足音の強く響くさま。

[nu:]Fui [〇]〇 ヌーフイ あれこれ。

[hai]ja: [〇]〇 (OK) ホイヤー 牛馬に対する【回れ右の】合図。「ぐるっと回れ」。【牛
のみ。馬はいない。】

[Mo:]juN [〇]〇 (OK) メーユン o いらっしゃる。o おっしゃる。

[Mo:]sjuN [〇]〇 モーユン いらっしゃる。おっしゃる。もっと丁寧で上品な言い方
が「メンショユン <m> [MeN]sjujuN [〇]o〇」。

[ʼa:]sju[N [〇]][[〇 アーシュン 二つに離す。引き分ける。仲を裂く。けんかの仲裁
をする。(古)「あかつ」(分ける)。

[ʼai]na[i [〇]][[〇 アイナイ ありのまま。「アイナイ話す」。

[ʼui]zju[N [〇]][[〇 ウイジュン 泳ぐ。

[ʼui]ju[N [〇]][[〇 ウイユン 起きる。

[ʼui]ju[N [〇]][[〇 ウイユン 成熟する。【起きるも。】

[ʼui]ju[N [〇]][[〇 ウイユン 果実・蒔・漬物等を食べやすいようにざるや皿、また

は掌等に分け移す。

[ʼu:]sju[N [○]][[○ ウーシュン 起こす。

[ʼu:]sju[N [○]][[○ ウーシュン 負わす。牛馬や車に荷を載せる。

[ʼwa:]tu[i [○]][[○ ウワートウイ 豚と鶏。家畜。

[ʼwa:]ju[N [○]][[○, [ʼwa]:[ja_%sjuN [○]][o_%○ ウワーユン・ウワーヤ / シュン【動物が】交尾する。

[ʼe:]ka[i [○]][[○ エーカイ 貸し借り。

[ʼoi]ju[N [○]][[○ オイユン 分ける。

[ʼo:]sju[N [○]][[○ オーシュン 合わせる。会わせる。闘わせる。加える。比べる。

[ʼo:]mu[i [○]][[○ オームイ 泡盛り。沖縄の焼酎の一種。【作った】

[ka:]ju[N [○]][[○ カーユン 要る。必要だ。否定形はカーラン [ka:]ra[N [○]][[○。

[ka:]ju[N [○]][[○ カーユン さわる。ふれる。干渉する。とりつく。否定形はカーラン [ka:]ra[N [○]][[○。

[gat]te[N [○]][[○ (OK) ガッティン 合点。納得。

[kaN]bi[N [○]][[○ カンビン 銚子。

[gja:]ja[: [○]][[○ ギャー / ヤー 茅葺き家。昭和二十年代まではこれが普通。

[Ku:]ju[N [○]][[○ クーユン くわえる。噛む。魚が釣針にかかる。

[Kwa:]mu[i [○]][[○ クワー / ムイ 守り・子守り。

[Kwa:]sju[N [○]][[○ クワーシュン (魚を) 釣る。はさむ。「戸の間に手をクワーして痛かった」。

[Kwa:]ju[N [○]][[○ クワーユン 噛まれる。「ねずみに足の指をクワーユン」。

[ke:]ju[N [○]][[○ ケーユン お茶などをつぐ。

[ke:]ju[N [○]][[○ ケーユン 掛ける。懸ける。賭ける。

[ko:]sju[N [○]][[○ コーシュン [焦す] 火に焙る。

[go:]ma[i [○]][[○ ゴーマイ パンツをはいていないこと。【男女ともに言う】

[saN]go[: [○]][[○ サンゴー 3合。

[sji:]ga[i [○]][[○ シーガイ【小】蛸の一種。

[sji:]ju[N [○]][[○ シーユン 食物が酔っぱくなる。すえる。

[sji:]ju[N [○]][[○ (OK) シュン 擦る。こする。(背中を)流す。

[seN]da[N [○]][[○ シンダン (植)せんだん。屋敷に植えて防風や木陰として役立つ。

[daN]da[N [○]][[○ ダンダン 色々(普通とは違ったもの)。「世の中にはダンダンな [daN]daN[na [○]]○ [o 人がいるものだ」。

[Cja:]ju[N [○]][[○ チャーユン 耕す。

[ejo:]cji[N [○]][[○ チョーチン 提灯。

[CjiN]kju[N [○]][○ チン/キュン つまみ切る。ちぎる。
 [CjiN]Ta[i [○]][○ チンタイ かたつむり。
 [CjiN]mi[N [○]][○ チンミン 包む。
 [tja:]ma[i [○]][○ (OK) ティ/アマイ [手余り] からだの大きな者。【図体、力
 もある。そういう人を [tja:]maiCju[: [○]○ [[○ という】
 [tu:]ju[N [○]][○ トゥーユン 通る。合格する。
 [tuN]zju[N [○]][○ トウンジュン 跳び降りる。
 [to:]ma[i [○]][○ トー/マイ [唐毬] 手まり。【唐米も。】
 [to:]da[i [○]][○ トーダイ まだまだ。「トーダイできそうにない」。
 [na:]Cju[i [○]][○ ナー/チュイ あれ一人。
 [na:]ba[: [○]][○ ナー/バー もう嫌だ。嫌だ。
 [na:]sju[N [○]][○ ナーシュン よける。のける。
 [nai]mu[N [○]][○ ナイムン 果物類。みかんやかぼちゃ等のナイムンがあまり多く
 実るときは不吉だから人に分けてあげなければならない。
 [ni:]ba[i [○]][○ ニーバイ (魚) しろぶちはた。
 [ne:]zju[N [○]][○ ネージュン びっこをひく。(古)「なへぐ」。
 [ne:]ju[N [○]][○ ネーユン しなえる。しおれる。
 [no:]sju[N [○]][○ ノーシュン なおす。しまう。「本をしまいなさい」というべきのを、
 方言を直訳して「本をなおしなさい」と言うのは誤り。
 [no:]ju[N [○]][○ ノーユン o(病気が)なおる。o縫う。o家に移転する。o座席を移す。
 [bat]ta[i [○]][○, [buk]ku[i (普) [○]][○ バッター びっしょり。ずぶ濡れの
 さま。
 [hju:]du[i [○]][○ ヒュードゥイ ひよどり。
 [biN]tu[i [○]][○ ビントゥイ [瓶取り] ナンコの際、審判を兼ねて負者に酒を飲ま
 せる【接待】役をする者。その際のビントゥイ酒は普通より薄めである。
 [Fu:]'ju[: [○]][○ フー/イュー 大魚。
 [Fu:]ju[N [○]][○ フーユン 借りたそのものを返さねばならない場合、例えば農具・
 牛馬などを借りる。
 [buk]ku[i [○]][○ ブックイ ずぶ濡れ。
 [Fa:]gwa[: [○]][○ フワー/グワー [外子] 外妻の子。
 [Fa:]da[i [○]][○ フワーダイ ついでに。
 [Fa:]ju[N [○]][○ フワーユン 計る。
 [Fa:]ju[N [○]][○ フワーユン o固くなる。o仲が悪くなる。
 [he:]sju[N [○]][○ ヘーシュン o囃す。o応援する。oけしかける【人を。犬には

言わない】。

[he:]ju[N [○]][[○ ヘーユン 早まる。

[he:]ju[N [○]][[○ ヘユン からだを横にして休む【寝ることにあらず】。

[ho:]cju[N [○]][[○ ホーチュン 掃く。

[ho:]ju[N [○]][[○ ホーユン 這う。

[bo:]ju[N [○]][[○ ボーユン 奪う。

[ma:]bu[i [○]][[○ マーブイ・マーブイ / タマシ 霊魂。生存中も肉体から離脱することがあると考えられている。

[Ma:]ju[N [○]][[○ マーユン 思われる。忍ばれる。

[Ma:]ra[N [○]][[○ マーラン 「思われない」 考えられない。o たまらなくいやだ。その感情・感覚が極度である。「暑くてマーラン」(暑くてたまらない)。

[maN]gu[i [○]][[○ マングイ。ちぢれ髪。

[maN]cju[N [○]][[○ マンチュン 手招きする。

[Mi:]kju[N [○]][[○ ミー / キュン・ミンキュン 思い切る。

[mi:]mu[N [○]][[○ ミー / ムン めす。

[mi:]mu[N [○]][[○ ミームン 見物【大阪などの】。見せ物【芝居】。

[mi:]ju[N [○]][[○ ミーユン 「萌える」 生える。

[mja:]ju[N [○]][[○ ミャーユン o 見える。o 面倒を見られる。「年とってからは長男夫婦にミャーユン」。

[miN]gu[i [○]][[○ ミングイ (植) きくらげ。油炒めにする。

[miN]da[i [○]][[○ ミンダイ 水深標。ニジュマシの水量を減少させぬようにする。

[Mu:]ju[N [○]][[○ ムーユン 思う。

[ju:]ju[N [○]][[○ ユーユン 酔う。

[ju:]ju[N [○]][[○ ユーユン 休む【一休みの意のみ】。

[jo:]zjo[: [○]][[○ ヨージュォー 「養生」 治療の意に用いる。

[jo:]cju[N [○]][[○ ヨーチュン そのままにしておく。中止する。やす。

[wa:]cju[i [○]][[○ ワー / チュイ 私一人。

[wa:]mu[N [○]][[○ ワー / ムン 私の物。

[wa:]sju[N [○]][[○, ['a:]sju[N [○]][[○ ワーシュン・アーシュン o 分ける。

o 離す。o 喧嘩の仲裁をする。o 挽く (木をわく)【木をノコギリで挽く】。

[wa:]ju[N [○]][[○ ワーユン 別れる。o 分家する。

[ji:]za[i [○]][[○ キーザイ からすき。牛馬にひかせて田畑を耕す道具。(古)「ぬざり」。

[je:]ju[N [○]][[○ エーユン やせ細る。

[ʼo]:[sa]N [○]][○]] オーサン 青い。緑もこの中に含まれる。

[ʼo]:[sja]N [○]][○]] オーシャン 危い。

[ku]i[sja]N [○]][○]] クイシャン 濃い。

[sji]:[sa]N [○]][○]] シーサン 酢っぱい。

[sju]:[sa]N [○]][○]] シューサン 白い。

[Cju]:[sa]N [○]][○]] チューサン 強い。

[Cju]k[Ku]N [○]][○]] チュッ/クン 一袋（みかんの中の袋）。

[nu]N[gja]: [○]][○]] ヌンギャー おおこわ。感動詞として用いる。

[hji]:[sa]N [○]][○]] ヒーサン 寒い。

[hju]:[sa]N [○]][○]] ヒューサン 広い。

[Fu]i[sja]N [○]][○]] フイサン 大きい。

[Fu]:[sa]N [○]][○]] フーサン 多い。（古）「ふさ」（多いこと）。

[Fa]:[sa]N [○]][○]] フワーサン 固い。堅い。

[he]:[sa]N [○]][○]] ヘーサン 早い。

[ho]:[ho]: [○]][○]] (OK) ホー 鶏を追う声。【遠くにいる場合。近くは [so]:[so]: [○]][○]]】

[ho]:[sa]N [○]][○]] ホーサン ロやかましい。きびしい。

[ma]N[du]N [○]][○]] (OK) マンドウン 多い。o 人数・金・物等が多い。A の人数より B の人数が多い等の場合はフーサン。

[ju]i[ju]i [○]][○]] ユイユイ ゆっくり。ぼつぼつ。

[ju]a・[sa]N [○]][○]] ユワサン o 【身体が、相撲が】弱い。o 眠い。

[jo]:[sja]N [○]][○]] ヨーシャン ひもじい。

[wa]:[sja]N [○]][○]] ワーシャン o おかしい【変だ、面白い、ともに】。o 恥ずかしい。共通語にした場合「皆に見られておかしかった」などと言うのは誤り。

[Kwa]N[Kwa]N [○]][○] クワンクワン 湯の沸きたっているさま。? 物の豊かにあるさま。【cf. [ka]N[ka]N [○]][○] は日照りと鐘に使う。】

[Ko]N[Ko]N [○]][○] (OK) コンコン がぶがぶ。水を飲むさま。

[bo]:[bo]: [○]][○] (OK) ボンボン ぼうぼう 火が盛んに燃えるさま。

ba[:]ga: [[○]]○ (OK) バンガー 考えるまでもなく嫌だの意を表わす返事。